

ICT支援員だよ！

平成28年度 第5号

平成28年12月1日 発行



【サテライト研修について】

向原小学校の第2回、第3回サテライト研修として9月2日（金）と10月12日（水）に「ICTを効果的に活用した授業づくり」をテーマにした校内研修が行われました。講師は、第1回目に引き続き広島県立教育センター 谷川 佳万指導主事においでいただきました。

研修の内容は以下の通りです。

◆第5学年 国語科「よいよい学校にするために提案しよう」

今回の授業でのICTの活用は・・・

- 自分の考えの根拠となる写真を撮り、タブレット内に保存しておく。
- タブレットの写真を見せながら、自分の考えを説明する。
- 授業支援ソフトを使用して、グループで選んだ考えの資料を電子黒板に送信して、発表時に表示する。



☆ 話し合いについて

◎話し合いのゴールは？ ・【収束】と【拡散】



◎話し合いの方法は？

- ・共通点を見つけて結論にする。 【共通点】
- ・相違点を見つけて評価し選択する。 【相違点（選択）】
- ・相違点を見つけて評価しまとめる。 【相違点（まとめ）】



◎評価の視点は？ ・授業のねらいに即して



☆ ICTの活用をするなら

○児童生徒には書き込みをさせたり、指し示させたりしながら説明させる

▲せっかく写真などを見せているのに、ノートや原稿を読むだけではもったいないです。

○書き込んだ児童生徒の意見などで必要なものは板書をして残す

▲電子黒板に提示している情報や保存できていない書き込みは次の情報を提示すると消えてしまいます。

○タブレットの扱いはきちんと指導しておく

▲机の端に置くと、落下の危険性があります。



◆第2学年 国語科

「しょうかいしよう！ぼくの・わたしのお気に入り～本のショーウィンドウをつくろう～」

今回の授業でのICTの活用は・・・

- 図書委員会からの依頼VTRを電子黒板で拡大表示する。
VTRはテロップや音楽をつけて編集しておく。
- 本のショーウィンドウの作成例やワークシートの書き方などを拡大表示する。
- これからの学習の流れや振り返りのポイントなどを提示する。

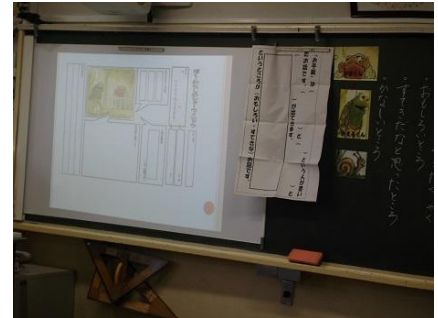


☆交流（ねりあい）では

- ・根拠や理由をはっきりと示す。
- ・交流の意義や必要性を感じさせる。
- ・全体では、「学びの変容を伝え合う」

☆ICTを活用した教材作成のポイント

- ・目的にあわせて
 - 児童生徒一人一人に課題を明確につかませるため
 - わかりやすい説明のため
 - 児童生徒の思考や理解を深めるため
 - 知識の定着を図るため
- ・授業の流れやねらいにあった形で
 - 「**授業のねらいが十分に達成できるようにするには**」という視点を持つことが大切！



ICT活用は料理を作る時の包丁の活用と同じである！

- ・包丁自体は料理をおいしくしない。
- ・包丁の練習だけでは、料理の腕は上がらない。
- ・包丁を使う料理人の腕が大事。
- ・間違えると血をみるけれど、切れ味のいい包丁が必要。

ICTを用いた
授業技術の向上
が重要！！



まずは操作に慣れて、どのような機能があるのかを知ることが大切です！
もし、分からないことなどがあれば、気軽に聞いてください。

いつもお忙しい中、目を通していただきありがとうございます。
次号は、1月に発行します。来年もよろしくお願いいたします。

